

公益社団法人 伊奈町シルバー人材センター

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

令和4年度は、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇などにより、日常生活に密接なエネルギー・食料品等の価格上昇が続き、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

また、令和2年1月に国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、昨年7月以降第7波、第8波と感染が拡大したものの、ワクチン接種の進展などに伴い重症化率は低下し落ち着きを見せています。

このような状況の中、当センターは、「自主・自立、協働・共助」の理念の下に、就業を希望する高齢者に就業機会を提供するとともに、地域社会への参加活動の推進や健康で生きがいのある生活の実現に寄与し、会員の皆様が健康で安全第一で就業できるよう各種の事業に取り組んだほか、会員の増強のための普及啓発活動や就業機会の確保・拡大並びに安全・適正就業の推進等に努めてまいりました。

令和4年度末の会員数は331名で、前年度と比較して2名の増加となりました。コロナ禍においても会員数が微増となった要因は「1人一声加入運動」を実施し、さらに「会員拡大キャンペーン」として入会金を半額としたほか、女性向け入会説明会の開催などにより、効果が表れたものと考えております。

事業実績につきましては、受注件数で前年度比0.9%増の1,625件、契約金額では、前年度比6.6%増の約1億6,700万円、就業延人員では前年度比4.6%増の44,434人となりました。

内訳としては、請負の受注件数が6件増加し、1,556件（前年度比較：0.4%増）、契約金額は227万円増加し、約1億2,650万円（前年度比較：1.8%増）となりました。

派遣事業においても、受注件数、契約金額ともに前年度を上回りました。受注件数は9件増加し69件（前年度比較：15.0%増）、契約金額は802万円増加し、約4,070万円（前年度比較：24.5%増）となりました。

以下、主な事業についてご報告いたします。

1 会員の増強と就業開拓提供事業

- 1) 会員の増強と就業機会拡大を図るため、昨年10月1日から10月31日までの間、会員全員で「加入一声運動」を展開するとともに、町内回覧等の実施に伴う相乗効果に加え、1月から3月までの3か月間、「会員拡大キャンペーン」として当センター独自で入会金を半額とするなど、期間中20名の加入申し込みをいただきました。
- 2) 今後更に増加が見込まれる「福祉・家事援助サービス事業」分野などの女性会員の増強を図るため、女性向け入会説明会を3回開催し、6名の加入申し込みをいただきました。女性入会説明会においては、女性役員・職員で対応し入会対象者に配慮した説明会を実施しました。
- 3) 町内事業所及び一般家庭へ向け、センター事業の理解と派遣を含めた就業機会の拡大を図るため、公共施設・金融機関等への啓発チラシの配置をお願いいたしました。
- 4) 会員の知識と経験とをマッチングさせ就業機会の拡大が図れるよう推進し、請負の契約受注件数は1,556件（対前年6件増）、派遣事業では契約受注件数69件（対前年9件増）となっています。
就業率は、請負では87.6%、派遣を含めると93.1%の実績を上げることができました。
- 5) 就業開拓を促進するため、町内事業所への、ハガキによる発注促進活動を行ったほか、公共機関に対し女性会員等の就労先の提供について依頼を行った結果、受注契約に繋げることができました。

2 普及啓発活動事業

- 1) 公共施設・金融機関等へのチラシの配置依頼や町全区への回覧を2回、センター広報紙「シルバーいな」を2回発行、町広報紙でのPR2回を含めた普及啓発活動を展開してきました。
また、ホームページを活用し、普及啓発に努めました。

- 2) 「会員拡大キャンペーン」として当センター独自で入会金の半額（令和5年1月～3月までの3か月間）を実施し、入会の促進を図りました。
（キャンペーンチラシを町全区で回覧、新聞折込を実施。）
- 3) 社会奉仕活動として地域の清掃ボランティア活動を1回実施し、センター事業の普及啓発活動に努めました。（参加者46名）
- 4) 町と締結した「伊奈町見守りオレンジネットワーク事業協定」（令和3年2月1日締結）により、協力事業者の一員として、認知症や孤立等で支援が必要な方の発見や日常生活における異変の早期発見、早期対応のため、地域の見守り活動を実施しました。

3 研修・講習事業

- 1) 会員の就業に必要な知識・技能の向上のため、機械除草班による刈払機取り扱いについての安全就業研修を実施しました。
- 2) その他、派遣事業やフレイル予防等、役員及び職員の研修事業に参加しました。

4 介護予防・日常生活支援総合事業

- 1) 町と当センターが相互に連携・協力し、「介護予防・日常生活支援総合事業」の「訪問型サービス」を実施し、生活支援サービスの提供をしています。

5 相談事業

- 1) 町内在住の高齢者に対して就業機会の提供を図るよう、毎月第3水曜日開催の入会説明会の他、女性を対象とした入会説明会を3回、また、「会員拡大キャンペーン」時に追加で開催し、合わせて16回開催しました。
（入会説明会出席者64名 内男性33名、女性31名）

- 2) 入会説明会には役員も同席し、シルバーの概要説明等を実施しています。また、会員間の就業上の相談を受け就業改善に努めました。

6 安全・適性就業推進事業

- 1) 「安全第一」・「事故ゼロ」を目指して、安全・適正就業委員会委員等3名による就業現場への「安全パトロール」を原則毎月1回行うよう計画し、年間で12回、延81か所を巡回実施しました。
これにより、就業現場の安全環境の再確認、安全就業意識の向上が図られました。
- 2) 会員の安全就業に必要な知識・技能の向上のため、機械除草班による刈払機取り扱いについての安全就業研修を実施しました。
就業における重篤事故は幸い無いものの、例年になく事故が多発しました。事故等の発生状況は、傷害事故1件、物損事故9件、合わせて10件（対前年7件減）となっております。
- 3) 「会員必携安全就業ハンドブック」を配付活用し安全就業の徹底を図りました。
- 4) 会員の就業時間及び就業期間の配分を考え、会員の能力に応じて公平に働く機会が得られるよう運営を図っていくことを検討したものの、会員数の増加を図ることが出来なかったこと、また、会員の高齢化等から安定したローテーションプランを策定することは難しく、引き続き今後の課題の一つと考えられます。